

1



2

ラムサール条約登録湿地 伊豆沼・内沼

面積: 伊豆沼369ha, 内沼122ha
最大水深: 1.6m, 海抜: 6m



伊豆沼全景(西から東方向を見る)

伊豆沼・内沼の保全の歴史

1967年 天然記念物

1973年 宮城県自然環境保全地域

1982年 国指定伊豆沼鳥獣保護区

1985年 ラムサール条約登録湿地

伊豆沼全景(東から西方向を見る)



伊豆沼・内沼の全景

伊豆沼全景(東から西方向を見る)

3

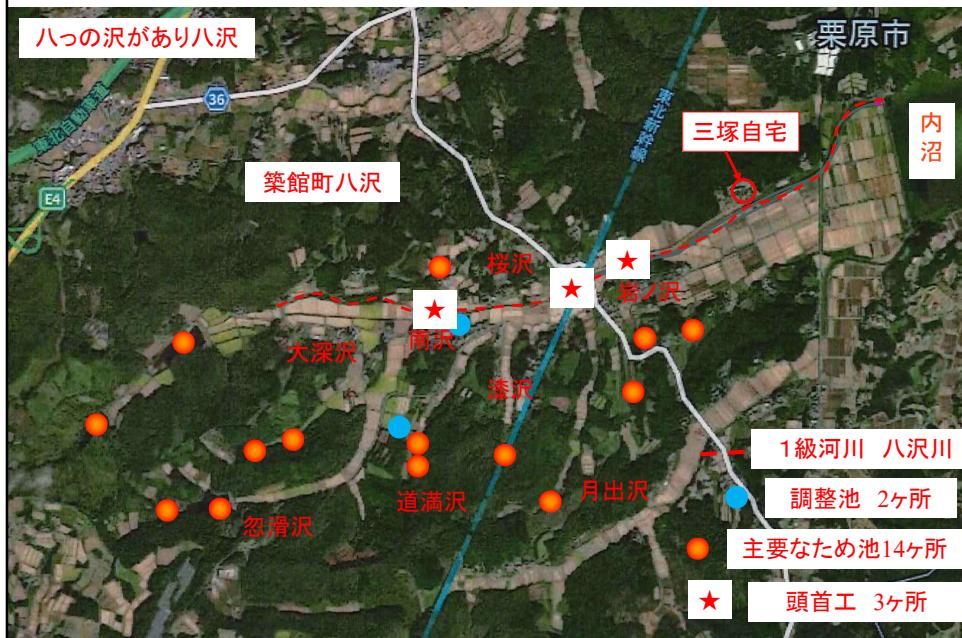
伊豆沼・内沼周辺航空写真(三塚自宅)



4

2

八沢集落航空写真



5

「ナマズのがっこく」

- 「農業と自然環境とが共生できる農村自然環境の復元と環境創造型農業を展開」するために
平成15年7月に結成した団体です。
- 会員数 16名（令和7年10月現在）
- 会員の構成
 - ・県の農業土木技術者 ・小学校の教員
 - ・淡水魚類研究者 ・水土里ネット理事、職員
 - ・自然環境調査会社員 ・地域住民
 - ・有機農業実践農家等

6

6

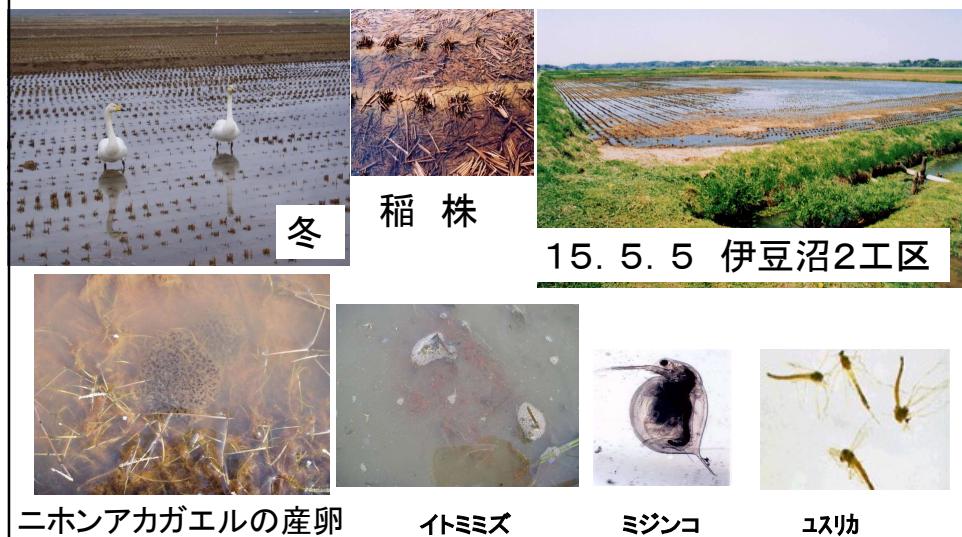
① 小規模水田魚道の開発・選上実験と普及活動(H15~)



7

② ふゆみず田んぼによる無農薬・無化学肥料栽培の取り組み(H15~)

- ・稻刈り後全く田を耕さないで水を張る ・農薬・化学肥料は使用しない
- ・疎植による病害防止 ・深水管理、米糠散布で雑草を抑制



8

③ 田んぼの学校の開催(H15~)



田植え体験



田植え体験



畦のカエル調査



水路の魚調査



田んぼの生き物調査



脱穀作業

9

伊豆沼・内沼集水域の溜め池におけるオオクチバス確認地点と駆除した地点(H17-H20 調査)

④ ため池のオオクチバス駆除活動(H16~)



10

⑤ ゼニタナゴ・シナイモツゴ ・ニホンアカガエルの 保全活動(H19~)



ゼニタナゴ



シナイモツゴ



ニホンアカガエル



蓋掛け

11

⑥ 排水路の工法検討(U型水路からV型水路)の検討(H16~)

・排水フリューム(側壁垂直)の装工は避ける。

V型水路で魚の生息や水生植物が生育する水路づくり



排水フリューム(U型)



側壁に植物を生えさせる



暗渠は越冬場所に



V型排水路(平成22年3月完成) 石巻市北上



ミズアオイ

12

⑦ ビオトープの造成 (H15~)



どのように造成すると生きものに有効か
管理はどうするか

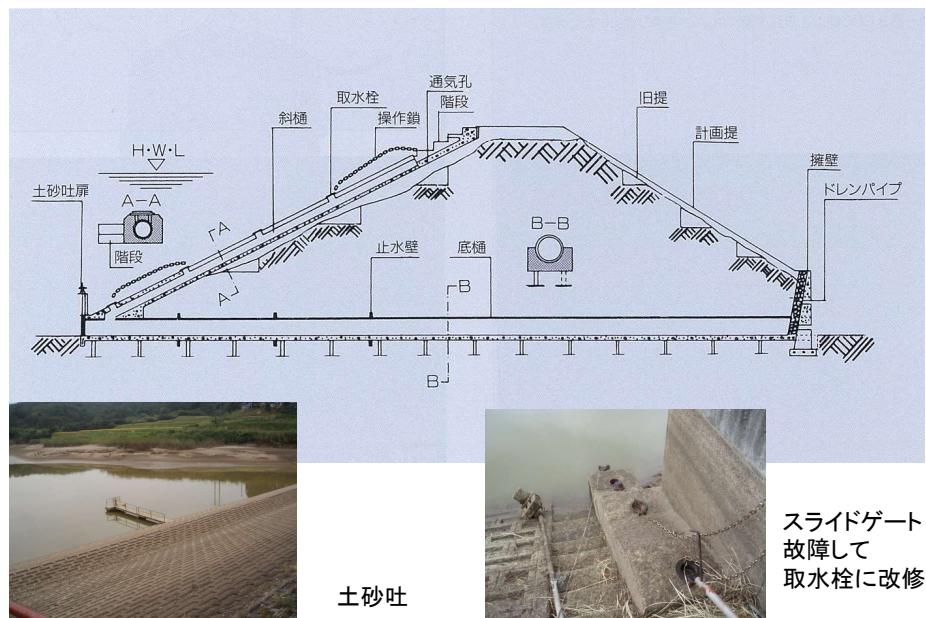
13

ため池のオオクチバス駆除活動(H16~)

- ・ ため池の生態系の変化
 - ① エビの生息場と減少
 - ② ゲンゴロウ、タガメ等の昆虫がいない
 - ③ 水棲植物藻類が見られない
 - ④ 在来淡水魚の減少
- ・ ため池の泥抜きが行われないため、ため池管理に支障を来している。
どのような構造になっているか次世代に引き継がれない。

14

ため池の構造



15

ため池の現状



16

ため池の現状



土砂吐がなく土砂の堆積が見られる

17

ため池の現状



堤体の浸食が進んでいる

18

平成21年11月9日
狼ノ巣ため池での出来事 漏水のため、土で覆う

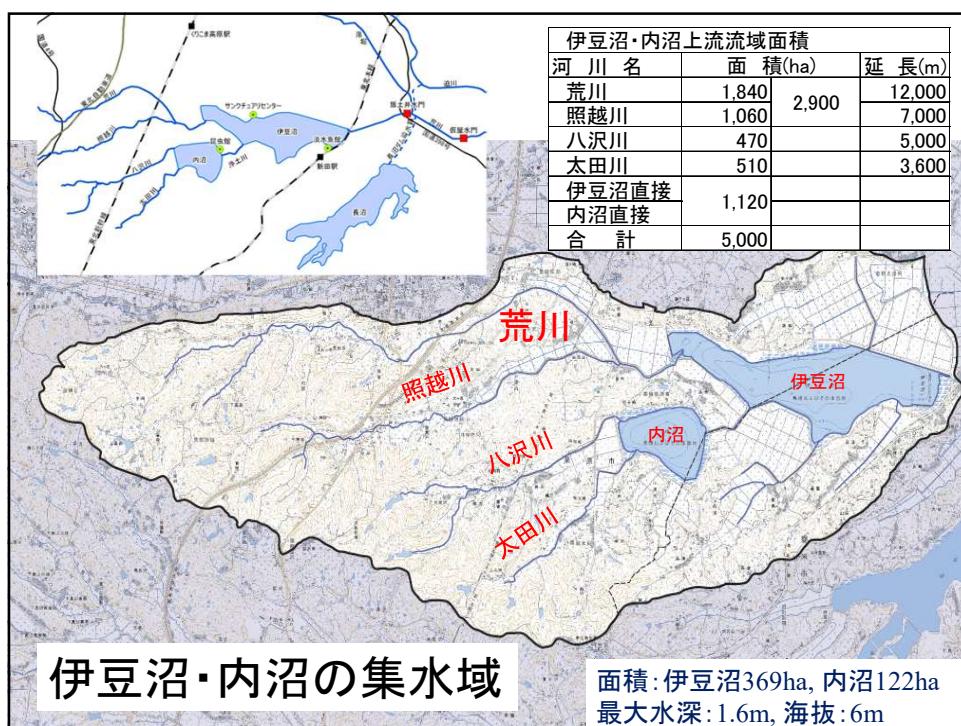


19

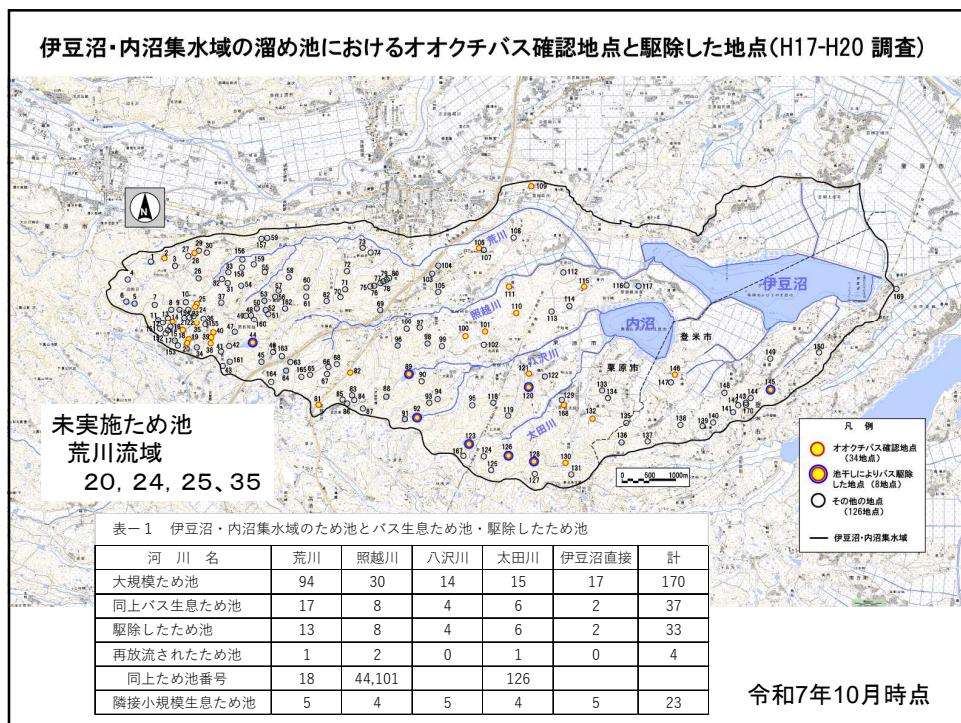
バス駆除活動の趣旨説明



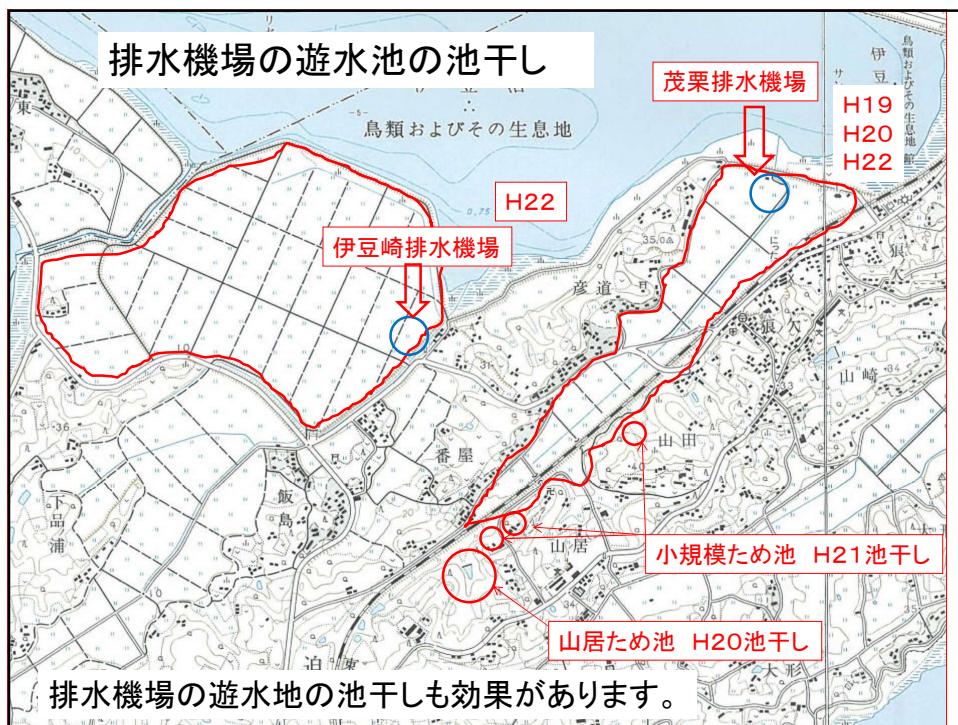
20



21



22



23

排水機場の遊水池の駆除



24

排水作業 水中ポンプ 吸水パイプ



25

吸水ホースにより排水作業(平成22年より導入)



26

八沢での初めての池干し



平成16年11月23日 集会所での集合

平成16年11月23日



たも網での捕獲作業



平成16年11月23日 小学生も参加



大きなコイを捕獲 バスは生息無し

27

平成18年11月18日 八沢ため池



28

14

ため池のオオクチバス駆除作業



エンジンポンプによる排水



吸水口まで泥の掘削



ゴミを除去しながらの排水



分別したオオクチバス

29

上流部の確認



上流部の水溜まりに取り残しがないかの確認作業も重要

30

在来魚の移動と放流



31

駆除後の計測



32



33

昼食後の再確認



平成18年11月18日
八沢ため池

34

池干し後



池干し後のため池
完全に排水した後、数週間は干し上げます。

八沢ため池では、平成20年9月28日に池干しを行い完全駆除を確認

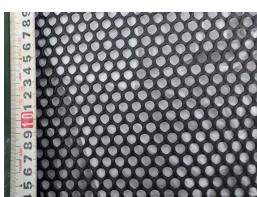
35

池干しの排水技術

① 流下防止対策



10cmメッシュ



径8mmネット

② サイホン排水



75mmのホース



2段 流下防止



堤体を越しての排水

36

③ ポンプ排水



クレーン付トラックでの作業



発電機



分電盤の設置



水中ポンプの移動作業



駆除前の水位

37

⑤ 底水の排水



駆除作業中の排水



泥水の排水作業



水中ポンプのゴミ対策



泥水の排水は三笠産業水中
フレキシブルポンプをお勧め

38

⑥ そりを利用した駆除作業



大型そり（東北水交製品）



取り残しの確認作業



生石灰散布作業



駆除したオオクチバス

39

令和元年9月12日 池干し 再放流された情報あり、11年ぶり



令和元年9月12日 落水開始



令和元年9月16日 落水途中



令和元年9月19日 流下防止網設置



令和元年9月19日 流下防止網設置

40

20



41



42



令和元年9月20日



令和元年9月20日



令和元年9月21日



令和元年9月21日

43



令和元年9月21日



令和元年9月21日



令和元年9月21日 バスの生息なし



令和元年9月21日 ワカサギ

44

在来魚を保全して食材としての利用



干して唐揚げ



みそ煮



エビもち



おひたしの添え物

45

今後の活動の継続が課題

- ボランティア活動では限界がある。
 - ・ 「ナマズのがっこう」では農林省のパロット事業やイオン環境財団の助成金を活用し、用具の購入をした。
- 外来種駆除は誰が、どうして、行うべきか？
 - ・ 行政主体
 - ・ 地域が主体
 - ・ 外来種駆除に关心があるのは少数
- ・ ため池管理も良好に行われるかが危ぶまれる。
ご清聴ありがとうございました。

46